発行／青森県立弘前南高等学校 父母と教師の会　編集／広報委員会　弘前市大字大開4-1-1　☎0172-88-3236　印刷／小野印刷　令和４年２月25日発行

広報 みなみ

MINAMI Vol. 141
題字揮毫　加賀谷　雪泉

「Wild and wise」

校長　三上浩一郎

場所には、人の思いや出来事の痕跡が積み重なり、記憶を想起させる力があります。この南陵の学び舎は、最も多感な時代を過ごした場所であり、皆さんの心のよりどころとなるのではないでしょうか。超えられそうもないハードルに対峙した時には、この場所の風や香りを思い出すことにより、乗り越える勇気が湧いてくると信じます。

「卒業おめでとうございます。」

今、卒業を迎えた皆さんは、これから生きていく上で、様々な課題が待ち受けています。複数の答えがあったり、訊いても答えがなかったりする社会でこれから生きることになります。そのような社会を生き抜くためには、京都大学山極前総長の言う「Wild and wise（タフさと賢さ）」な人間にならなければならないと私は考えます。未知の事象に向かい合い、恐れず切り拓く力が、未来を生きるあなたたちには必要とされるのです。卒業生のみなさんは、この南陵の丘で探究的な学習や文武両道の校是を通じ、フロンティア（未知）に立ち向かう**ワイルド**（野性的でタフ）な、小さな芽を育てました。その芽を弱い芽を、次のフェイズでさらに強靱なものに育て上げてほしいと心から願います。

また、**ワイズ**とは、賢いことです。南高で習得した基礎的な知識を教養へ深化させることが次の段階です。教養は、経験したことのない風土や文化に接し、多様な人々と出会い、そして多くの本を読むことで高まると考えます。卒業後は、「**旅・人・読書**」により、教養を深めることを期待します。

卒業に際し、皆さんの前途が希望に満ちあふれていることを願い、「ワイルド＆ワイズ」という言葉を餞に贈ります。

すべてをあなたの強みに

教頭　吉川智恵子

卒業おめでとうございます。

１００歳を超えても現役医師であった、故日野原重明さんのことばに、「人生とは無駄というものはないもの。しかし、後にならないとその意味がわからないということがたくさんあるのです。つらいことでも苦しいことでも「体験」したことは、間違いなくその人の強みになります。」とあります。「こんなことをやっても意味がない」とか、「将来役に立たないことをしたくない」など、その時の価値観で決めてしまいがちです。しかし、それは自分を形成する土台になる可能性を秘めています。今やっていることがしんどくても、それを乗り越えたときに、知らないうちにパワーアップされているとしたら、こんな嬉しいことはありません。

皆さんの卒業を心より喜び、これからの人生に幸多からんことをお祈りいたします。

祝卒業

三年次主任　吉岡　智

第57回生の皆さん、卒業おめでとうございます。様々なことにチャレンジし続けた3年間を経て、大きな自信と誇り、達成感を抱いて、卒業を迎えたことと思います。

また、保護者の皆様におかれましては、こんにちまで皆様に賜りましたご支援とご協力に改めて深く感謝申し上げます。

さて、新しいことを始める時に、一番大切なことはそれを成し遂げたいという『情熱』です。夢を実現できるかどうかは途中であきらめるかどうかにかかっています。結果が出るまではやってみなければ、夢にはたどり着くことはできません。結果に失敗はありません。失敗といえるものは、むしろ何もしないこと、結果が出るまでやらないことだということです。皆さんが持っている可能性は無限大です。その可能性を最大限にするのは「夢をあきらめない」ことだと思います。予測のつかない社会に飛び込んでいく皆さんだからこそ、今まで以上に自分の信念を強く胸に抱き、夢に向かって進んでください。二一世紀の中核として、また、令和の時代のリーダーとして活躍していく皆さんに期待しています。

自分の花を咲かせよう!!

三年次委員長　木下千恵子

57回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者・先生方々や周りの協力があり無事卒業をむかえる事ができたと思います。

コロナ禍の中手さぐりの高校生活だったとは思いますが、その中でもしっかりと自分のなりたい将来のために頑張ってきた事だと思います。目標を達成するために、切磋琢磨してきた事もとても大切な経験だったと思います。一人では乗り越えられなかった事も仲間や支えてくれる方々がいてくれたから乗り越えられたのではないでしょうか。

これから、いろいろな出会いの中でしっかりと自分がいる場所に根づき、そして自分の花を咲かせ、それぞれの分野で活躍する事を期待しています。

最後に伝えたいこと

31ＨＲ担任　佐藤　有代

果てしのない人生という海原に出航する皆さんに、愉しく人生を過ごすコツを伝授する。一つ目、如何に単調な生活だったとしても、毎日ひとつは愉しい、面白いと思えることを見つけること。二つ目、理想の自分を思い描き、その理想に向かって日々を過ごしているというイメージを持つこと。三つ目、毎日寝る前に、自分にとっての癒やしの時間を作り、自分をいたわること。以上のことが円滑に実行できなくなったら、他者に助けを求めること。

卒業おめでとう。

仲間を大切に

32ＨＲ担任　三上　敦子

ご卒業おめでとうございます。皆さんと一緒に過ごした時間は、たくさんの発見に溢れたものでした。制限がある中で行われた学校行事が予想以上に盛り上がるなど、皆さんの力強さには本当に驚かされました。仲間がいれば乗り越えられることや楽しめることがたくさんあることに気づき、本当に楽しい思い出ばかりだと思います。社会に出ると人とのつながりの面白さや大切さを今以上に感じると思います。卒業しても、人とのつながりを大切にしてそれぞれの場所で活躍することを祈っています。

言葉のちから

33ＨＲ担任　木村　智子

卒業おめでとうございます。皆さんはこの一年間、たくさんの言葉に勇気づけられたと思います。5月と12月にホームルームでその言葉を書いてもらい、全体で共有しました。友人や家族、先生方などの身近な人から、漫画や歌詞の引用まで多岐にわたっていました。また内容も身が引き締まるような強いメッセージや心温まるものなど、どれも心に響きました。これからも素敵な言葉にたくさん出会うことでしょう。それらは皆さんを支え、前へ前へと導いてくれるはずです。そのような言葉を積み重ね、心豊かな人生を過ごすことを願っています。

卒業生に贈る言葉

五十七回生の卒業生へ

錫杖会会長　油川　安孝

栄えある五十七回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

思い出せば三年前、皆さんは高校受検生でした。不安と焦りの中、入学試験を迎えたことと思います。晴れて合格してから三年間、新型コロナウィルスに振り回された時でもありますが、皆さんは高校生活の中から何を学んだでしょうか。

これまでは、保護者や先生方、周囲の大人が守ってくれる生活であり、それはときに不自由さを感じさせるものであったかもしれません。しかし、これからは子供扱いはされません。成人年齢が十八歳に引き下げられる今、自分の意志が尊重され、選択できる幅が広がる反面、責任もまた大きくなります。ただし、人間が一人でやれることには限界があります。周囲の人に協力を求めることもまた、選択肢の一つです。

卒業後の皆さんとの繋がりは「錫杖会」を通してになります。ここ二年間は新型コロナウィルスの影響により開催できませんでしたが、通常毎年七月に総会を開催しています。ホームページにも掲載されますので、是非参加して下さるようお願いいたします。

やる気

育励会代表理事　尾﨑　寿一

57回生の皆さん、御卒業おめでとうございます。皆さんにとっては2年次、3年次とコロナ禍での学校生活となりました。感染防止対策をとりながらの学校生活や部活動など、今も制約を受け続けています。このような経験は考えようによっては皆さんの人生にとって重要な意味をもってくるような気がします。今までの生活から新しい生活へと変化しつつある変革の時代に生きているのですから…この得難い経験を将来に生かそうとするかはこれからの本人の本当のやる気次第だと思います。「本当のやる気がある」というのは「どんな障害が現れても乗り越えてみせる」という強い意志と覚悟を持って臨むことです。このような心構えがあれば必死に解決の方法を探し求め、やがて実を結ぶことになります。

皆さんにとって素晴らしい未来になることを祈っております。

卒業する皆さんへ

PTA会長　佐々木雅教

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。皆さんはコロナ禍という未曾有の災禍により、高校生活の多岐にわたり制約を受け、我慢の日々であった事と思います。そしてまた、今後も従来の常識が成り立たない、とても難しい時代が続くと思われます。そんな社会に羽ばたく皆さんに伝えたいことは、「命より大事なすべき事はひとつもない」ということです。進学・就職先で懸命に取り組まなければならない事はもちろんあります。ただ、飛び込み方も大事ですが、そこからどうやって離れるのかも、同じくらい大切です。そこにいたら、自分が本当に自分ではなくなってしまう、そう思った時、そこから離れる方法も身につけておいてください。逃げ道はなくても違う道は必ずあります。自分らしく生きられる場所を求めることは逃げ道ではありません。心身ともに健康で過ごせることがいかに幸せかを実感しつつ、健康に留意し、日々努力してください。皆さんに明るい未来が開けるよう祈っております。

自力で前進

34HR担任　小森　修

これまでの学校生活の中で、大小拘わらず目標を定めて、それを達成するために取り組んできた。自ら積極的に頑張る人もいれば、先生や友人に背中を押されてやる人もいた。しかし今後は、全員が自力でやろうとしなければいけません。その際、同じ目標を持った人と励まし合いながら取り組むこともあるでしょう。今春から十八才で成人となるが、その分責任を負う事にもなる。目標を定め、その達成に向けて、自力で前進してください。

感謝

35HR担任　原　裕太郎

卒業おめでとうございます。3年生になってからの1年間は本当にあっという間でした。時には声を荒げて指導することもありましたが、南高の最高学年として様々な行事を経験し、また進路決定という壁を乗り越えて大きく成長したと思います。毎日、顔を合わせるのが当たり前だったので、会えなくなると思うと少し寂しくも感じます。

最後に私から贈る言葉は、月並みですが周りの人への感謝の気持ちを忘れないということです。皆さんの生活は多くの人に支えられて成り立っています。特に親への感謝の気持ちを忘れないでください。進学や就職に伴い、一人暮らしを始める人も居ると思います。解放される部分もありますが、食事の準備や洗濯や掃除、また困ったときに頼れる存在がそばに居ないことに不安を感じることもあるかもしれません。今までお世話になった気持ちを忘れずに、それぞれの場で頑張ることが恩返しになると思います。皆さんの活躍を期待しています。

卒業おめでとう

36HR担任　水木　るみ

「学生の頃の友達は一生の友達」。大学生の頃の恩師の言葉です。学生の頃はピンと来ませんでしたが、大人になるにつれ、この意味がわかるようになったような気がします。学生の頃の友と会うと、一気にその頃に戻ります。連絡をずっととっていなくても、です。いろいろなことを取り留めもなく話し、笑い、昔を懐かしみ、また明日から頑張ろうという力をくれます。出会いに感謝し、友人を大切に。

SSH校内発表会

令和3年12月10日㈮　校内課題研究発表会各班のテーマ

1班	ガンマスカウトを用いた放射線量の測定
2班	マイクロスケール実験の開発
3班	りんご果汁を用いたバイオエタノールの生成方法 ※東北大会出場
4班	ビタミンCの摂取を効率的にするには
5班	プラナリアの食と自切について
6班	可食部以外の抗菌活性
7班	流星群の眼視観測と電波観測について
8班	謎解き『數學端記』田中佳政の量識萬物變數法と新制龍籌」
9班	「1=0.99999‥‥」は本当に正しいのか
10班	宇宙エレベーターロボット　※全国大会出場

頑張れ！3年次

共通テストに向けて健闘を祈りだるまに目をいれました。

令和三年度 部活動等の記録

■陸上部

春季大会
男子ジュニア砲丸投げ　4位　工藤多加志

新人戦
男子砲丸投げ　5位　工藤多加志

■空手道部

高校総体
女子個人組手　5位　三上　陽蘭

秋季大会
階級別　女子個人組手　3位　大島　彩季

■弓道部

春季大会
女子個人　6位　谷川　千乃

高校総体
男子個人の部　2位　舘山　遙響
※インターハイ出場
3位　播磨　謙
男子技能優秀賞　播磨　謙

秋季県下高等学校弓道大会
男子団体　4位
女子個人　6位　木村　楓

第21回東日本高等学校弓道大会
青森県最終予選会
女子団体　優勝

■バドミントン部

高校総体
男子学校対抗　ベスト8
女子学校対抗　ベスト16

■バスケットボール部

春季大会
男子2回戦　53―58対　弘前東
女子1回戦　56―71対　八戸

高総体
男子1回戦　46―60対　八戸西
女子3回戦　57―71対　光星
※ベスト16

■テニス部

高校総体
男子団体　ベスト8

新人戦
女子団体　3位
女子ダブルス　ベスト8
黒瀧　知愛・成田　遙香
男子シングルス　ベスト16
黒沼　優貴

県下高校室内大会
男子ダブルス　ベスト8
石川　寛人・神馬　智哉

■卓球部

春季大会
男子学校対抗　5位

高校総体
男子学校対抗　5位
女子学校対抗　ベスト16

新人戦
男子学校対抗1部　ベスト16
男子シングルス　6位　伊藤　航太
※第49回全国高等学校選抜卓球大会
出場権獲得

■バレーボール部

高校総体
男子　3位

青森県高等学校新人バレーボール
中弘南黒地区大会
男子　3位
女子　2位

第42回弘前市総合バレーボール
選手権大会
女子　3位

■サッカー部

第58回青森県高等学校サッカー新人県大会
ベスト8

第100回全国高校サッカー選手権大会青森県大会
2次予選進出

■硬式野球部

秋季青森県高等学校野球選手権大会
ベスト4

第94回選抜高等学校野球大会
21世紀枠青森県推薦校

■水泳部

高校総体
女子50m平泳ぎ　1位　三上　結衣
女子200m平泳ぎ　5位　三上　結衣
男子400m個人M　2位　小田桐英冴
男子100m平泳ぎ　3位　伊藤　祐陽
男子200m自由形　5位　吉田　恵大
男子400m自由形　4位　吉田　恵大

第74回青森県高等学校選手権
200m自由形　4位　吉田　恵大
400m自由形　4位　吉田　恵大
100m平泳ぎ　5位　伊藤　祐陽
200m平泳ぎ　5位　伊藤　祐陽
400m個人M　2位　小田桐英冴
50m背泳ぎ　1位　小田桐英冴
50m平泳ぎ　1位　三上　結衣
男子総合　8位

第61回青森県高等学校新人選手権
200m平泳ぎ　4位　伊藤　祐陽
100m背泳ぎ　4位　伊藤　祐陽
200m個人M　3位　小田桐英冴
400m個人M　3位　小田桐英冴
200m平泳ぎ　5位　三上　結衣
400m個人M　5位　杉渕　憩瞳
男子総合　8位

■写真部

第45回全国高等学校総合文化祭
写真部門　奨励賞　三上　果萌

第28回全国高等学校写真選手権大会
「写真甲子園」本戦大会
出場　葛川　陽太・三上　遥
小野　伶菜

全日本写真展2021
高校生の部
銅賞　黒瀧　凜・三上　遥

第43回よみうり写真大賞
中高生フォト部門
入選　黒瀧　凜・澁谷　淑江

高総文
最優秀学校賞
最優秀賞　佐藤　美空・小野　伶菜
優秀賞　澁谷　淑江
優良賞　三上　遥・葛川　陽太

■書道部

高総文
優秀賞　伊藤　優
優良賞　柴田　音乃

第26回全日本高校・大学生書道展
漢字　優秀賞　高坂　愛可
調和体　優秀賞　寺沢　友里

■文芸部

高総文
散文(随筆)の部
優秀賞　駒井　未来
優良賞　高谷　華穂

第25回青森県高等学校文化連盟演劇部
中南・西北支部演劇合同発表会兼青森県高校演劇合同発表会予選　優秀賞

■視聴覚部

弘前地区春季大会
アナウンス部門　2位　小西　紗礼
5位　木村ちひろ
朗読部門　4位　木村　惇浩

高総文
朗読部門　優良賞　須藤優利菜
テレビ番組部門　優良賞
研究発表部門　優良賞
テレビキャンペーン部門
3位　山下　孔聖

青森県高等学校放送コンテスト兼第68回NHK全国高校放送コンテスト青森県予選会
研究発表部門　2位

青森県高等学校放送コンテスト
弘前地区秋季大会
アナウンス部門　4位　木村ちひろ
朗読部門　2位　須藤優利菜
6位　山下　孔聖

■吹奏楽部

アンサンブルコンテスト弘前地区大会
打楽器5重奏　金賞
クラリネット5重奏　金賞
フルート3重奏　銀賞

■図書委員会

あおもりの中学生・高校生による「大切なあなたへ薦める青春の一冊」
審査員賞　石上　千紘

■図書部・国語科

第67回青森県高等学校
読書感想文コンクール
課題図書　最優秀賞　藤田　更紗
自由図書　最優秀賞　池田ひなた

第67回青少年読書感想文全国コンクール
高等学校の部　自由読書部門
毎日新聞社賞　池田ひなた

■編集後記■

学校行事に保護者の方々が参加する機会が少ない中、少しでも学校生活の様子がわかるように、多くの写真を掲載し、広報みなみを編集してきました。皆様の協力を得て、とても楽しい時間でした。ご協力いただいた皆様1年間ありがとうございました。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

広報委員長　竹村　智美

○弘前南高等学校ホームページ　http://www.hirosakiminami-h.asn.ed.jp　○同窓会ホームページ　http://www.shakujoukai.net/index.html
発行／青森県立弘前南高等学校 父母と教師の会　編集／広報委員会 弘前市大字大開4-1-1 ☎0172-88-3236　印刷／小野印刷　令和４年２月25日